

第42回Lアラート運営諮問委員会議事録

- 日時 2025年3月12日(水)13:30～15:00
- 場所 一般財団法人マルチメディア振興センター大会議室(Web会議にて実施)
- 出席者(敬称略、順不同)

【諮問委員会委員】

委員長	音好宏	(上智大学)
	猪股渉	(一般社団法人日本ガス協会)
	宇田川謙	(一般社団法人共同通信社)
	宇田川真之	(国立研究開発法人防災科学技術研究所)
	河合英明	(日本テレビ放送網株式会社)
	川島修	(株式会社エフエム東京)
	菊地実成	(東京電力パワーグリッド株式会社)
	金原正幸	(株式会社静岡新聞社)
	小松崎竜一	(東京都)
	芝勝徳	(神戸市外国語大学)
	柴田健剛	(日本放送協会)
	清水諭	(愛媛県)
	下谷幸信	(株式会社メイテツコム)
	高野記行	(日本水道協会)
	堤浩一朗	(LINEヤフー株式会社)
	中原秀樹	(一般社団法人日本コミュニティ放送協会)
	森田公剛	(日本電信電話株式会社)

【オブザーバ】

	臼井義幸	(内閣府調査・企画担当)
	星尾日明	(内閣府調査・企画担当)
	谷寧人	(気象庁総務部企画課)
	内藤新一	(総務省情報流通行政局地域通信振興課)
	宮田真弓	(総務省消防庁国民保護・防災部防災課)

○ 欠席者

	安斎茂樹	(一般社団法人日本民間放送連盟)
	田沼佳之	(東北放送株式会社)
	山本孝	(株式会社ジェイアール東日本企画)
	吉田一将	(一般社団法人日本ケーブルテレビ連盟)

○代理出席

	佐藤正一	(一般社団法人日本民間放送連盟)
--	------	------------------

【事務局】

北條仁康、岡本樹生、深澤琢磨、佐藤新次、河村明、見津田直樹、外山勝敏(FMMC)

○ 資料

資料42-0	議事次第
資料42-1	2024年度業務計画(作業部会)の進捗状況について
資料42-2	Lアラート運用ガイドライン(事例集)1.0版(案)
資料42-3	Lアラート全国合同訓練2025実施要綱 1.0版(案)

資料42-4 Lアラートお知らせ発信のひな型 2.0版(案)
資料42-5-1 Lアラート利用者の有効期間の見直し(規約変更案)
資料42-5-2 Lアラートサービス利用規約の改正事項(対比表)
資料42-5-3 Lアラートにおける情報配信停止等への対応(案)
資料42-6 Lアラートに係る今後の総務省の取組について(投影のみ)

添付1 Lアラートサービス利用規約_第1.21版(案)

添付2 Lアラート取り扱う情報種別及びデータフォーマットに関する細則_第2.1版(案)

1. 開会

マルチメディア振興センタープロジェクト企画部岡本部長から赴任の挨拶があった。

2. 議事

(1) 2024年度業務計画(作業部会)の進捗状況について

事務局から資料42-1に基づき、2024年度業務計画(作業部会)の進捗状況について説明があった。

(2) Lアラート運用ガイドライン(事例集)(案)について

事務局から資料42-2に基づき、Lアラート運用ガイドライン(事例集)1.0版(案)について説明があった。

【主な意見・質疑等】

○資料32頁のQ01の発信情報の確認のところで、防災情報システム、Lアラートビューワ及びNHK、yahoo等の防災アプリがあるが、この3つの確認方法について、確認出来る内容や優先順位に差は無いと理解して良いか。(芝委員)

→確認出来る内容は同じと認識している。(事務局)

(3) Lアラート全国合同訓練2025実施要綱(案)について

事務局から資料42-3に基づき、Lアラート全国合同訓練2025実施要綱(案)について説明があった。

(4) Lアラートお知らせ発信のひな型(案)について

事務局から資料42-4に基づき、Lアラートお知らせ発信のひな型(案)について説明があった。

(5) Lアラート運用業務の見直し(規約変更案 他)について

事務局から資料42-5に基づき、Lアラート運用業務の見直し(規約変更案 他)について説明があった。

【主な意見・質疑等】

○資料の7頁で、Lアラートサポートデスクが出水期限定で月に1回「終了していない情報発信を抽出して、対象の都道府県に提供する。」となっているが、終了されないままの状態は出水期以外でも起こり得るので、出水期に限らず実施した方が良いのではないか。(河合委員)

→冬場は避難指示が出ることが少ないので出水期に実施しているが、実施期間の見直しについては今後検討したい。(事務局)

(6) Lアラートに係る今後の総務省の取組について (投影のみ)

総務省(地域通信振興課 内藤課長)から資料42-6に基づき、Lアラートに係る今後の総務省の取組について説明があった。

3. 閉会

北條専務から、2年の任期満了に伴うお礼と、来年以降も引き続きのご協力をお願いがあった。

事務局から、来年度の運営諮問委員会のスケジュールについては別途連絡するとの周知があった。